

令和元年度 徳島県立小松島西高等学校 学校評価計画

1 学校教育目標

「誠実」「進取」「友愛」の校訓のもと、自主・自立の精神と豊かな人間性を持ち、地域社会に貢献できる人材を育成する。

2 重点課題

- 1 基礎学力の定着と主体的に学習に取り組む態度の育成に努め、キャリア教育を推進し、生徒の自己実現の支援を行う。
- 2 基本的な生活習慣の確立を図るとともに、家庭・地域・関係機関等と連携し、組織的な生徒指導を行う。
- 3 互いの人格を尊重し、支え合う人間関係を築く能力を育てるとともに、いじめを許さない学校づくりを行う。
- 4 教職員の意識改革と資質向上を図るとともに、学校の組織力を向上させ、保護者や地域から信頼される学校づくりを行う。

3 自己評価

重点目標	評価指標と活動計画	評価指標の達成度	評価
<p>学校生活全般を通じて、基本的な生活習慣の確立と集団生活の規律向上を図る。 基礎基本の定着を図るとともに、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動する力を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導、集会やホームルーム等での指導を通して、あいさつや言葉遣い、身だしなみ、通学時のマナーの向上を図る。 ⇒校則を守っている生徒、守れていると評価する教員を前年度より増加させる。 ⇒「課題や提出物を期限までに出している」生徒を前年より増加させる。 ⇒自転車安全カード(警告書)の交付枚数を前年より減少させる。 ・朝の5分間学習を年間100回以上実施し、定期考査とのフィードバック等で内容の充実や基礎学力の向上を図る。 ⇒2年生の模試でDゾーンの生徒20%以内 ・進学・就職に関わる情報や社会の変化、防災・働き方改革の取り組みを地域・保護者と共有しながら、人材の育成と魅力ある学校作りを目指す。 ⇒学校からの情報発信方法(各課だより等)とHP更新回数を昨年度より増加させる。 ⇒エンカル消費講演会を開催する。 		
<p>学習習慣の確立を図り、基礎学力の定着と専門分野の知識・技術の確実な習得を図り、県内唯一の学科を有する専門高校の強みを生かしながら各分野を担う職業人を育成する。</p>	<p>商業科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生で水曜7限の補習を昨年並みに確保し、習熟度学習等の導入により学力の向上を図る。 ・各種検定に積極的に取り組ませる。 ⇒全商簿記検定1級合格者数を前年より増加させる。 ⇒全商ビジネス文書実務検定合格者数を前年より増加させる。 		
	<p>食物科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生で週2回、1・2年生で週1回の7限目や長期休業中の特別授業、集中講義を実施する。 ・小テスト・実技テスト等を実施し、授業内容の定着を図る。(考査時の専門科目の目標60点) ⇒家庭科技術検定(食物調理)の合格率100% 食育インストラクターの合格率100% 技術考査の合格率100% ⇒料理コンクール等での入賞を目指す。 		
	<p>生活文化科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト・実技テスト等を実施し、知識・技術の定着を図り、各種検定の合格を目指す。 ⇒家庭科技術検定(被服製作)4・3・2級は80%、1級は80%以上、色彩検定3級50%以上 ・学校資産を活用し、徳島の伝統工芸の紹介と地域との交流を図る。 ⇒地域の学校・園及び住民を対象とした藍染め体験を年3回以上実施する。 		
	<p>福祉科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週3回の7限目や長期休業中の集中講義を実施し1単位につき35時間の授業時間を確保する。 ・校外模擬試験の平均得点率60%以上を目指し、学習内容の定着を図る。 ⇒介護福祉士国家試験の合格率90%以上を目指す。 		

4 学校関係者評価(主な意見など)

5 次年度への課題と今後の改善方策